



会 社 名 イ ノ テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 大塚 信行
 (コード：9880 東証プライム)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 三 上 孝 明
 (TEL：045－474－9000)

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向などを踏まえ、2026 年 5 月 14 日に公表した 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	50,000	3,700	3,700	4,850	398.37
今 回 修 正 予 想 (B)	51,000	4,000	4,000	5,000	415.47
増 減 額 (B - A)	1,000	300	300	150	-
増 減 率 (%)	2.0%	8.1%	8.1%	3.1%	-
(参考) 前期連結実績 (2026 年 3 月 期)	46,737	3,108	2,912	4,111	320.19

第1四半期連結累計期間の業績は、システム・サービス事業において、自動車関連需要の減退により車載向けが予想以上に落ち込んだものの、データセンターをはじめとする半導体や社会インフラ向けに自社製 CPU ボードや BOX 型コンピューターなどが好調に推移しました。また、テストソリューション事業において信頼性試験装置やプローブカードが堅調に推移したことや収益性の向上がみられたほか、半導体設計関連事業も概ね想定通りとなりました。第2四半期以降もこれらの傾向が継続する見込みであることから、通期の売上高、営業利益、経常

利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正するものであります。

以上